



サポチル

認定NPO法人 子どもの心理療法支援会

サポチル関東 事務局

E-mail : kanto.kenshu@sacp.jp

Twitter(現X) : [@info_kanto](https://twitter.com/info_kanto)

URL : <http://sacp.jp/>

サポチル関東 主催

2026年度 研修グループのご案内

サポチル関東では、子どもから青年期の心理臨床に携わる臨床家に向けた研修グループを開講しています。事例経験、理論学習、体験学習を通して体系的に学び、サポチル認定資格「子どもの精神分析的心理療法士」を取得できるように構成されています。(※1)

- ◆「自閉スペクトラム文献講読セミナー」新規開講！
- ◆継続的に学び、仲間と研鑽する場として、皆さまのご参加をお待ちしております！

	研修名	講師	会場	日時	備考
New!	自閉スペクトラム文献講読セミナー	福本修	オンライン	第4水曜 19時30分～22時	★ 全10回
	子どもの精神分析的セラピーGSV	小笠原貴史	オンライン	第2・4木曜 20時～21時30分	★ 全22回
	スクールカウンセリングGSV	鈴木誠	オンライン	第2日曜 9時～12時15分	★ 全11回
	初学者向けワークディスカッション	中岡裕美	会場開催/ オンライン	原則第3日曜 13時～15時	★ 全10回
	発達ワークディスカッション	村田朱美	会場開催	偶数月第1日曜 13時～17時15分	★ 全5回
	乳児観察セミナー	脇谷順子	会場開催/ オンライン	木曜 19時～20時30分	★
New!	思春期セミナー（企画中）	岩宮恵子	オンライン	2026年5月	★申請 予定

その他 勉強会

その他 研究会・研修	講師	会場	日時	備考
サポチル関東研究会	会員向け研究会	オンライン／対面開催	第1日曜 9時45分～12時	★
子どもの心理療法BabyStep	小笠原貴史	オンライン	調整中	

★印は、規定を満たした場合、臨床心理士の資格更新ポイント対象となります(定例型研修会4ポイント)。

※1 資格については、サポチルHPIに詳しい紹介がございますのでご覧下さい。

※2 個人スーパーヴィジョンを行う関東の「子どもの精神分析的心理療法スーパーヴァイザー(コンサルタント・セラピスト)」および「特別指定スーパーヴァイザー」は現在4名です。詳細は各スーパーヴァイザーにお問合せ下さい。

子どもの精神分析的心理療法指定スーパーヴァイザー(コンサルタント・セラピスト)	脇谷順子 小笠原貴史
子どもの精神分析的心理療法特別指定スーパーヴァイザー	奥寺崇 木部則雄

申込締切 2026年2月28日(土) 詳細は次ページにて

理論学習	自閉スペクトラム文献講読セミナー		
------	------------------	--	--

自閉スペクトラムの内界・外界の交錯を紐解き、分析的見取り図を描く2年間のセミナー開講！
 今日、心理療法を求める人たちの多くは、虐待や発達特性の問題を併せ持っており、従来の精神分析的アプローチを適用することは容易ではありません。これまで、サポチル関東のセミナーでは、クラインや現代クライン派、ビオンの講読を進めてきましたが、新たな2年コースの企画として、自閉病理の理解と治療に関わる文献を取り上げたいと思います。中心となるのは、タスティンやロード、ハーグらおよび現代の治療者たちの論考ですが、カナーやアスペルガーの古典そして当事者の記述も参照して、現代的な広がりを見たいと思います。
 尚、参加者にはA4サイズ1枚程度の略歴と志望動機、関心や希望をお書きいただきます。
 本セミナーは2年構成です。単年の受講も歓迎しています。 ※サポチル会員が優先となります。
 ※受講者はレジュメの作成と発表を持ち回りで行います。


期間・日程	2026年4月～2027年3月（全10回） 第4水曜 19時30分～22時 ※5月と12月は休み		
開催形式	オンライン開催		
対象	臨床心理士、公認心理師、医師、それに準ずる専門家		
定員	12名程度	受講料	6万円/10回（会員5万円）
講師の 所属・略歴	福本修(代官山心理・分析オフィス、恵泉女学園大学名誉教授) 東京大学医学部医学科卒業、医学博士。1993～2000 年タヴィストック成人部門留学。 日本精神分析学会認定精神療法医・日本精神分析学会認定精神療法医スーパー ヴァイザー。著書「現代クライン派精神分析の臨床」金剛出版、2013、訳書:C.ブロン スタイン編「現代クライン派入門」岩崎学術出版(共訳)、2005、R.シェーファー編「現 代クライン派の展開」誠信書房、2004など 多数。		

事例経験	子どもの精神分析的セラピーGSV		
本GSVは、子どもから思春期青年期までを対象とした精神分析的セラピーの事例について、スーパーヴァイザーと共にグループディスカッションを通して学んでいきます。参加者は自らの子どもの精神分析的セラピーの臨床実践を丁寧に記述し、グループで継続的に事例について向き合い考える過程を経験することで、主体的に心を使って考える臨床感覚を磨いていくことになります。子どもから思春期青年期の精神分析的セラピーを実践している方はもちろん、それにチャレンジしようとする方も歓迎します。 ※本研修は、サポチル認定「子どもの精神分析的心理療法士」取得のための単位として認定されます。			
期間・日程	2026年4月～2027年3月（全22回） 第2・4木曜日 20時～21時30分（1回90分・1事例を検討） ※8月は休み		
開催形式	オンライン開催		
対象	臨床心理士、公認心理師、医師、それに準ずる専門家。子どもから思春期青年期の事例（開始時18歳以下）の提示が可能で、通年参加できる方		
定員	5名	受講料	5千円／1回（90分）
講師 所属・略歴	小笠原貴史（小笠原こどもとかぞくのカウンセリングルーム） 東京国際大学大学院臨床心理学研究科博士前期課程修了後、国立精神・神経センター武蔵病院、医療法人こうぬま会こうぬまクリニック、公立学校スクールカウンセラー、こうぬま心理相談室。現在、東京都渋谷区千駄ヶ谷にて個人開業。 サポチル認定子どもの精神分析的心理療法士／スーパーヴァイザー（コンサルタント・セラピスト）。		

事例経験	スクールカウンセリングGSV		
<p>本GSVは、幅広い学校臨床活動を精神分析的に考えていくワークディスカッションです。スーパーヴァイザーからの事例状況の理解と助言だけでなく、グループディスカッションを通じて参加者自らが相互に対話することで理解を深め、スクールカウンセラーとしてのあり方や関わりを発展させていくことを目指します。事例は、構造化された面接だけでなく、授業観察、教職員との会議、緊急支援など、学校臨床で直面するさまざまな援助場面です。理論的な先行研究も少ないこの領域において、自らの援助の妥当性を精神分析的観点から検証する機会を提供したいと思っています。ひとり職場で奮闘している方々にとっては、自助グループ的な機能も期待できます。ぜひ参加してみませんか。</p> <p>※本研修は、サポチル認定「子どもの精神分析的心理療法士」取得のための単位として認定されます。</p>			
期間・日程	2026年4月～2027年3月(全11回) 第2日曜 9時～12時15分 ※8月休み		
開催形式	オンライン開催		
対象	臨床心理士、公認心理師、医師、それに準ずる専門家。スクールカウンセリングの事例の提示が可能で通年参加できる方		
定員	5名	受講料	1万1千円／1回3時間(税込)
講師の 所属・略歴	鈴木誠(くわな心理相談室主宰) 名古屋大学医学部精神医学教室卒業後研修修了。 日本精神分析学会認定心理療法士・スーパーヴァイザー。 認定NPO法人子どもの心理療法支援会監事。		

事例経験		初学者向け ワークディスカッション	
<p>これから精神分析的な心理療法を学ぼうとする方に向けたグループです</p> <p>本研修では、小グループの文献ディスカッションと事例ディスカッションを通して、精神分析的に見ること、書くこと、考えることの基本を学びます。事例経験を詳しく記録に起こして提示する作業と、グループの中でメンバーと感じたことや考えを交換しながら事例について探索的に考える作業が中心となります。文献は、M.ワデル「Inside Lives」を基本書に早期の心の発達を考え、理論学習への導入とします。</p> <p>一連の作業が心のワークとして活性化するよう、通年の小グループ単位で、初回と最終回は対面設定で行います。時間や場所を構造化した心理療法設定に限らず、様々な臨床現場の面接素材や観察素材を歓迎します。臨床経験年数は問いません。</p> <p>文献：マーゴ・ワデル著「Inside Lives」 副文献：J.R.レフ編「母子臨床の精神力動」</p>			
期間・日程	2026年4月～2027年3月(全10回) ※5,8,11,3月は休み ※原則第3日曜13時～15時(6/21, 7/19, 9/20,10/18,12/20,1/17) オンライン ※初回(4/19)と最終回(2/21)は13時～17時15分(2回分) 会場開催		
開催形式	会場 : 都内(渋谷区内)会議室およびオンライン開催		
対象	臨床心理士、公認心理師、医師、それに準ずる専門家。子ども、思春期～青年期の臨床素材および観察素材の提示が可能で通年参加できる方		
定員	5名	受講料	4万円／10回
講師 所属・略歴	中岡裕美 (こども・思春期メンタルクリニック) 東京女子大学大学院修士課程修了(臨床心理学)、タヴィストック・クリニックにてMA in Psychoanalytic Studies修了。乳児観察、保育園観察を経験。精神科病院を経て、精神科および児童精神科クリニック、総合病院小児科にて子ども～思春期・青年期の臨床に従事。サポチル認定子どもの精神分析的な心理療法士。		

事例経験	発達ワークディスカッション		
<p>乳幼児の発達をベースに多職種の方たちと臨床を再考するグループです</p> <p>本研修では、乳幼児期の「発達」を軸に、子どもとのやりとりにきめ細やかな注意を向け、精神分析的観察の視点を活かして、子どもと家族への理解を深めていきます。</p> <p>乳幼児期は、匂い・手触り・音など、言葉以前の身体感覚を通じた触れ合いや情緒体験を基盤として、人と人との関係性が形成される時期です。文献および臨床現場での素材を手がかりに、丁寧な観察に基づく臨床実践についてメンバー同士が主体的に考え、人との関係性の中で自らのこころを用いて思考を深める体験を重ねていきます。療育機関、保育園、保健センター、乳児院、養護施設、病院など、幅広い臨床現場で子ども・家族に関わっている専門職の皆様のご参加を歓迎します。</p> <p>指定文献:「子育て、保育、心のケアにいきる赤ちゃん観察」(鈴木龍・上田順一;編, 金剛出版)</p>			
期間・日程	2026年4月～2027年3月 (全5回) 偶数月第1日曜 13時～17時15分 ※8月は休み		
開催形式	会場 : 都内(渋谷区内)会議室 ※基本的に会場開催、相談によりオンラインも検討		
対象	臨床心理士,公認心理師,臨床発達心理士,医師,看護師,助産師,保健師,保育士,幼稚園教諭,それらに準ずる専門家。通年参加できる方。		
定員	5名	受講料	4万2千円(全5回、会場費込み)
講師の所属・略歴	村田朱美(日本赤十字社医療センター小児科) 白百合女子大学大学院博士課程修了。母子関係における乳幼児の情動発達の縦断研究で博士(心理学)取得。保育園、保健センター、療育機関、子育て支援センターなどで子どもと家族の心理的支援を経て、現在、総合病院での育児支援、発達相談、精神分析的心理療法の臨床に従事。認定NPO法人子どもの心理療法支援会サポチル認定子どもの精神分析的な心理療法士。		

申込方法	締切 2026年2月28日(土)
<p>1. 下記URL・QRコードから申込フォームに入り、希望するグループを選択し、必要事項を記入の上送信してください。</p> <p>https://forms.gle/nBMw9pBxLsgGXwps7</p> <p>※オンラインによる研修では、「守秘義務に関する取り決め」に同意して頂く必要があります。同意いただけない場合、参加することはできません。詳しくは申込フォームにてご覧下さい。</p> 	
<p>2. 参加申込の確認後、事務局より、「申込受付メール」をお送りします。</p> <p>※自動返信ではありません。お返事には数日を要することがあります。</p>	
<p>3. 申込締め切り後、受講の可否についてのメールをお送りします。</p> <p>※締め切り日前でも定員に達し次第、募集を終了いたします。募集状況はサポチルHPで随時お知らせします。</p> <p>※最少催行人数に満たない場合、開催を見送ることがあります。</p> <p>＜自閉スペクトラム講読セミナー/初学者向けワークディスカッション/発達ワークディスカッション＞</p> <p>◆申込締め切り後、受講料の振込口座および期日をお知らせします。</p> <p>◆受講料の振込が確認されましたら、事務局より「振込確認+受講受理完了メール」をお送りします。</p> <p>※期日までに未納の場合は、お申込みはキャンセルとして取り扱う場合がございます。</p> <p>※お振込み後、受講生の事情でキャンセルする場合、受講料の返金には応じられません。</p> <p>＜子どもの精神分析的セラピーGSV/スクールカウンセリングGSV＞</p> <p>◆申込締め切り後、受講方法および受講料の支払い方法について詳細をお知らせします。</p> <p>＜乳児観察セミナーグループ＞に関しては info@sacp.jp までお問合せください。</p>	
<p>◆申込時に必要なメールアドレスについて</p> <p>自然災害や講師の急病などによって、グループを中止(延期)せざるを得ない事態が生じる可能性があります。その場合、各グループのメーリングリストにてご連絡します。また、研修の資料や文献をWordやPDF等で配布することがあります。そのため、申込に使うメールアドレスは、緊急時に確認でき、かつ添付ファイルを受信できる連絡先をご入力ください。</p>	

お問い合わせ先: kanto.kenshu@sacp.jp